次期岐阜県リニア中央新幹線活用戦略　骨子【概要版】

参考資料１

＜戦略の基本的な考え方＞

- ▶「『リニア岐阜県駅を核とした東濃・可茂圏域のまちづくり』の具体的な方向性」の**３本柱をベース**としながら、これを東濃・可茂圏域だけでなく、**県内全域**に広げていく
- ▶ リニアが開業する時代を担う**若者を中心**に、リニアを活用したまちづくりに関する県民の**機運醸成**を図る
- ▶ **首都圏・関西圏からの視点**をより強く意識する
- ▶ **国**やリニア中間駅設置県（神奈川県、山梨県、長野県）など**他の自治体**、特に隣接する**長野県**木曽地域や**愛知県**西三河地域などと**積極的に連携**を図る

＜戦略の具体的な方向性＞

【共通認識】 県民とともに描く未来への機運づくり

【方向性】

リニアが開業する時代を担う**若者を中心に、リニアを活用したまちづくりを考える機会を創出し、県民がまちづくりに参画・協働する取組を推進**するとともに、リニアの開業効果や工事の進捗状況などについて、**SNSや動画など各種媒体で、県民、そして首都圏をターゲットとした情報発信**を行う

【具体的な施策のイメージ】

❶ 県民とともにまちづくりを考える機会の創出　（リニア建設現場見学会、出前講座の実施、シンポジウムの開催、リニアに関する副読本の作成　など）
❷ 県民とともに創り上げるまちづくり　（リニアを活用したまちづくりの取組への県民の参画・協働）
❸ SNSなどを活用した情報発信の充実・強化　（リニア開業効果、工事の進捗状況などの情報発信、岐阜県の魅力を紹介するPR動画の作成　など）

1 国内外から訪れたくなるまちづくり

【方向性】

県内各地に点在する自然や食、歴史・伝統文化など、地域ならではの**魅力をさらに磨き上げるとともに、国内外への積極的な情報発信により、観光需要を取り込みながら、交通ネットワークを確保し、周遊性を高める取組を推進**

【具体的な施策のイメージ】

❶ 地域資源（自然や食、歴史・伝統文化など）の掘り起こし・磨き上げ
（リニア岐阜県駅や中部総合車両基地の観光活用、自然や食、歴史・伝統文化などの磨き上げ・魅力発信　など）
❷ アウトドア資源や農林業体験などを楽しむ環境整備
（アウトドア資源等を活用した広域周遊・体験型観光のプロモーションを展開、森林サービス産業の育成やトイレ等の受入環境整備への支援、農泊の推進、観光産業に携わる人材育成・確保など）
❸ 周遊促進、宿泊の創出
（周遊により滞在時間を延ばし宿泊・再訪を促進、ターゲットに応じた観光誘客の推進、インバウンド向けの誘客推進　など）

2 首都圏・関西圏の生活圏として、働き、住みたくなるまちづくり

【方向性】

日本の中央に位置し、津波の心配がないという岐阜県が持つ地理的・地形的な優位性と、豊かな自然などの地域資源を強みに、**関係人口の創出、移住・二地域居住の取組、本社機能移転や先端産業などの研究機関、サテライトオフィス、教育機関の誘致などを推進**

【具体的な施策のイメージ】

❶ 関係人口の創出、移住・二地域居住の推進
（地域資源を生かした関係人口の創出、二地域居住・移住者支援、半農半Xなどアグリパーク構想の推進、空き家の利活用、保育園の短期滞在プログラムの推進　など）
❷ 先端産業・行政機能等の誘致
（本社機能移転やデータセンター、防災庁の地方機関の誘致　など）
❸ 医療・介護体制の整備
（医療提供体制の構築、医師偏在対策、介護人材確保　など）
❹ 子育て支援体制の整備
（魅力的な教育環境の充実、待機児童解消に向けた人材確保、ぎふ木育の推進　など）
❺ 地域を担う人材の育成・確保
（大学など教育機関の誘致、産業人材等の育成・確保　など）
❻ 地域を支える産業の育成・支援
（伝統・地場産業の支援、県産材の利用拡大支援　など）

3 まちの魅力を高める基盤整備

【方向性】

この地域ならではの景観形成を図り、機能的で利便性の高い**リニア岐阜県駅及び駅周辺の整備を進めるとともに**、アクセス性・周遊性の向上に向け、**広域道路ネットワークの整備や自動運転を含む二次交通の充実等を推進**

【具体的な施策のイメージ】

❶ リニア岐阜県駅及び駅周辺の整備
（「別世界」と感じるリニア駅・周辺整備、ＪＲ美乃坂本駅の機能強化、物販・情報提供機能の整備の推進　など）
❷ リニア岐阜県駅のアクセス道路及び周遊を促進する道路網の整備
（国道１９号瑞浪恵那道路や濃飛横断自動車道、東濃西部都市間連絡道路、東濃東部都市間連絡道路等の整備の推進　など）
❸ リニア駅等を起点とした公共交通ネットワークの充実
（自動運転など新技術を活用した公共交通の検討、広域バス路線の創出、在来線鉄道の機能強化・利用促進　など）
❹ 交通拠点の機能強化
（リニア岐阜県駅へのアクセス向上のためのパーク・アンド・ライドの推進、在来線の駅周辺整備、交通拠点の機能強化　など）
❺ 安全で安心なまちづくり
（新丸山ダムや木曽川水系連絡導水路の整備の促進、ユニバーサルデザインの推進、交通事故抑止対策や防犯対策の推進　など）

次期岐阜県リニア中央新幹線活用戦略

骨子

岐阜県リニア中央新幹線活用戦略研究会

次期岐阜県リニア中央新幹線活用戦略について

＜戦略の基本的な考え方＞

- 「『リニア岐阜県駅を核とした東濃・可茂圏域のまちづくり』の具体的な方向性」の**３本柱をベース**としながら、これを東濃・可茂圏域だけでなく、**県内全域**に広げていく

＜具体的な方向性の３本柱＞
①国内外から訪れてもらえるまち
②首都圏・関西圏の生活圏として、働き、住んでもらえるまち
③まちの魅力を高める基盤整備

- リニアが開業する時代を担う**若者を中心**に、リニアを活用したまちづくりに関する県民の**機運醸成**を図る
- **首都圏・関西圏からの視点**をより強く意識する
- **国**やリニア中間駅設置県（神奈川県、山梨県、長野県）などの**他の自治体**、特に隣接する**長野県**木曽地域や**愛知県**西三河地域などと**積極的に連携**を図る

戦略の具体的な方向性



【共通認識】 県民とともに描く未来への機運づくり

【方向性】

リニアが開業する時代を担う**若者を中心に、リニアを活用したまちづくりを考える機会を創出し、県民がまちづくりに参画・協働する取組を推進**するとともに、リニアの開業効果や工事の進捗状況などについて、**SNSや動画など各種媒体で、県民、そして首都圏をターゲットとした情報発信**を行う

【具体的な施策のイメージ】

❶ 県民とともにまちづくりを考える機会の創出
❷ 県民とともに創り上げるまちづくり
❸ SNSなどを活用した情報発信の充実・強化

1 国内外から訪れたくなるまちづくり

【方向性】

県内各地に点在する自然や食、歴史・伝統文化など、地域ならではの**魅力をさらに磨き上げるとともに、国内外への積極的な情報発信により、観光需要を取り込みながら、交通ネットワークを確保し、周遊性を高める取組を推進**

【具体的な施策のイメージ】

❶ 地域資源（自然や食、歴史・伝統文化など）の掘り起こし・磨き上げ
❷ アウトドア資源や農林業体験などを楽しむ環境整備
❸ 周遊促進、宿泊の創出

2 首都圏・関西圏の生活圏として、働き、住みたくなるまちづくり

【方向性】

日本の中央に位置し、津波の心配がないという岐阜県が持つ地理的・地形的な優位性と、豊かな自然などの地域資源を強みに、**関係人口の創出、移住・二地域居住の取組、本社機能移転や先端産業などの研究機関、サテライトオフィス、教育機関の誘致などを推進**

【具体的な施策のイメージ】

❶ 関係人口の創出、移住・二地域居住の推進
❷ 先端産業・行政機能等の誘致
❸ 医療・介護体制の整備
❹ 子育て支援体制の整備
❺ 地域を担う人材の育成・確保
❻ 地域を支える産業の育成・支援

3 まちの魅力を高める基盤整備

【方向性】

この地域ならではの景観形成を図り、機能的で利便性の高い**リニア岐阜県駅及び駅周辺の整備を進めるとともに**、アクセス性・周遊性の向上に向け、**広域道路ネットワークの整備や自動運転を含む二次交通の充実等を推進**

【具体的な施策のイメージ】

❶ リニア岐阜県駅及び駅周辺の整備
❷ リニア岐阜県駅のアクセス道路及び周遊を促進する道路網の整備
❸ リニア駅等を起点とした公共交通ネットワークの充実
❹ 交通拠点の機能強化
❺ 安全で安心なまちづくり

【共通認識】 県民とともに描く未来への機運づくり

リニアの開業効果を全県的に広げていくためには、まずは**県民がリニアへの関心を持ち**、そのうえで、**リニアが来た将来のまちづくりをイメージ**していただくことが重要

そのため、**リニアが開業する時代を担う若者を中心に、リニアを活用したまちづくりを考える機会を創出し、県民がまちづくりに参画・協働する取組を推進**するとともに、リニアの開業効果や工事の進捗状況などについて、**SNSや動画など各種媒体で、県民、そして首都圏をターゲットとした情報発信**を行う

【具体的な施策のイメージ】

❶ 県民とともにまちづくりを考える機会の創出

○　リニア建設現場の見学会や出前講座、シンポジウムの開催、小・中学生向けの副読本の作成などを通じて、県民のリニアへの理解を深めるとともに、地域の魅力や将来のまちづくりについて県民と一緒に考える機会を創出し、特に若い世代のシビックプライドを高める取組を推進

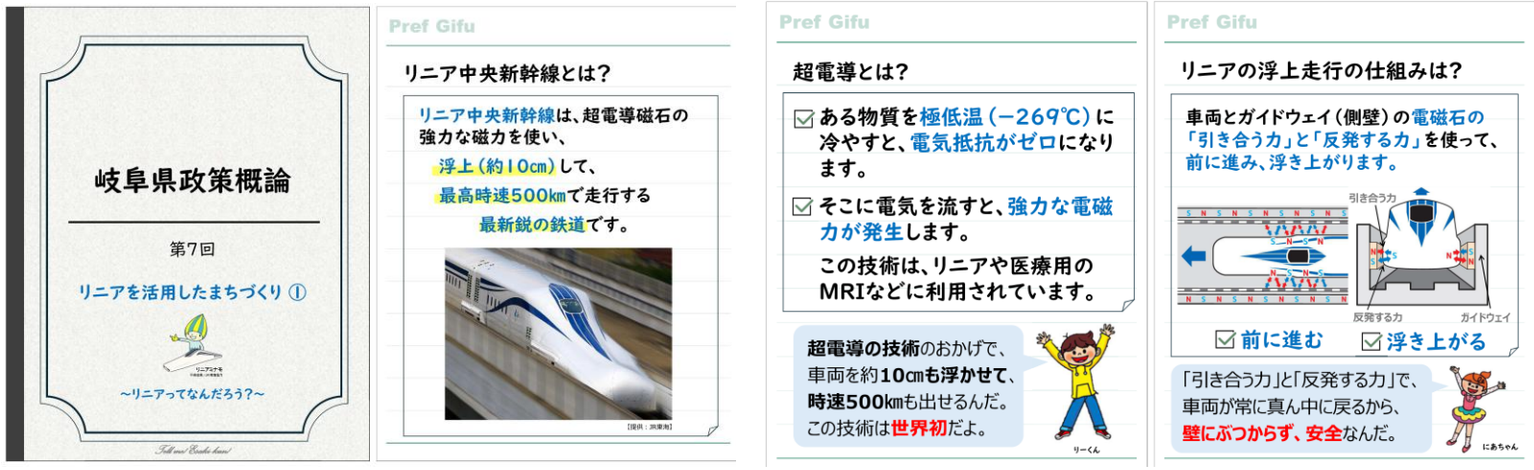
❷ 県民とともに創り上げるまちづくり

○　リニアへの理解を深め、リニアを活用したまちづくりについて考えた上で、県民が主体的に参画し、協働でまちづくりを推進

❸ SNSなどを活用した情報発信の充実・強化

○　SNS・各種イベントなど様々なツールを利用した開業効果・建設工事の進捗状況の発信や、開業効果とあわせて岐阜県の魅力を紹介する動画の作成などを通じて、県民の関心を高めるとともに、首都圏をターゲットとした情報発信を展開

SNSを活用した情報発信



県内のリニア建設工事現場（リニア岐阜県駅）



©Central Japan Railway Company. All rights reserved.

※令和８年６月現在

1　国内外から訪れたくなるまちづくり

「国内外から訪れたくなるまち」とするためには、この地域が、東京から１時間弱で結ばれ、**トンネルを抜けると「別世界」の体験ができる特別な地域**として感動してもらえることが重要

そのため、県内各地に点在する自然や食、歴史・伝統文化など、地域ならではの**魅力をさらに磨き上げるとともに、国内外への積極的な情報発信により、観光需要を取り込みながら、交通ネットワークを確保し、周遊性を高める取組を推進**

【具体的な施策のイメージ】

❶ 地域資源（自然や食、歴史・伝統文化など）の掘り起こし・磨き上げ

○　中津川市・恵那市の地域資源（中山道、恵那峡など）を重点的に磨き上げるとともに、リニア岐阜県駅や中部総合車両基地をはじめ、リニア中央新幹線そのものを新たな観光資源として活用するなど地域資源の掘り起こしを行うことにより、リニア岐阜県駅周辺地域のにぎわい創出と魅力向上を推進

○　県内市町村や事業者等と連携し、「飛山濃水」と呼ばれる山々や清流、温泉などの豊かな自然、飛騨牛や鮎、栗きんとんなどの食、中山道や地芝居、戦国武将、祭りなどの歴史・伝統文化、刃物や陶磁器などの地場産業、広域からの誘客が見込まれる音楽フェスなどのイベントなど、岐阜県ならではの地域資源を磨き上げるとともに、一体的な情報発信を推進

○　「東美濃歴史街道協議会」などによる、歴史・伝統文化、地場産業等の地域資源を生かし、その魅力や価値の共通認識のもと関係者が一体となった取組を推進

❷ アウトドア資源や農林業体験などを楽しむ環境整備

○　本県の豊富な自然やアウトドア資源に加え、健康や癒しにつながる地域資源と連動させながら、通年楽しめるような広域周遊・体験型観光など、関係事業者等と連携した一体的なプロモーションを展開

○　森林サービス産業に取り組む事業者が行う地域資源を生かした体験プログラムの磨き上げやトイレ等の受入環境整備、インバウンドの受入体制の強化を支援

○　ぎふの農村ならではの体験メニューと地域貢献メニューを組み合わせた滞在型体験プログラム「GIFU-DO 農泊」の取組を推進

○　県外を含む多様な人材の活用も図りながら、観光産業に携わる人材の育成・確保を推進

1　国内外から訪れたくなるまちづくり

❸ 周遊促進、宿泊の創出

○　岐阜県ならではの地域資源をストーリーでつなぎ合わせた周遊により、県内での滞在時間を延ばし、「もう１泊」を促進するとともに、観光消費の拡大や再訪につなげる取組を推進

○　本県の豊富な自然やアウトドア資源に加え、健康や癒しにつながる地域資源と連動させながら、通年楽しめるような広域周遊・体験型観光など、関係事業者等と連携した一体的なプロモーションを展開　【再掲】

○　リニア岐阜県駅をはじめ、名古屋駅、岐阜羽島駅、中部国際空港などのゲートウェイからの誘客を見据え、観光客層や移動経路、周遊テーマを整理し、ターゲットに応じた観光誘客を推進

○　リニア開業を契機として、戦国武将、武道、中山道、日本刀、陶磁器などの地域資源を活用し、インバウンド向けの誘客を推進

※関連施策　「３　まちの魅力を高める基盤整備」❷、❸

❷ リニア岐阜県駅のアクセス道路及び周遊を促進する道路網の整備

○　国道１９号瑞浪恵那道路や濃飛横断自動車道、東濃西部都市間連絡道路、東濃東部都市間連絡道路など、リニア岐阜県駅へのアクセス性を向上させる道路及びリニア岐阜県駅のある東濃圏域から県内そして隣接県へと魅力ある拠点を結び、周遊を促進する道路網の整備を推進

❸ リニア駅等を起点とした公共交通ネットワークの充実

○　リニア開業により生じる、リニア岐阜県駅、名古屋駅、岐阜羽島駅などを起点とした新たな人流や交通ニーズへの対応及び地域を支える公共交通の維持・確保のため、自動運転など新技術の活用検討や広域バス路線の創出、在来線鉄道（地方鉄道を含む）の機能強化・利用促進など、リニア岐阜県駅からの二次交通を含めた公共交通の効率化及び利便性の向上など計画的な整備を推進

2　首都圏・関西圏の生活圏として、働き、住みたくなるまちづくり

「働き、住みたくなるまち」とするためには、**アクセス時間が大幅に短縮される名古屋**に加え、**生活圏・通勤圏に含まれることとなる首都圏・関西圏**の方々から見ても、**利便性が高く、魅力的で安心して働き、生活できる環境を提供**することが重要

日本の中央に位置し、津波の心配がないという岐阜県が持つ地理的・地形的な優位性と、豊かな自然などの地域資源を強みに、**関係人口の創出、移住・二地域居住の取組、本社機能移転や先端産業などの研究機関、サテライトオフィス、教育機関の誘致などを推進**

【具体的な施策のイメージ】

❶ 関係人口の創出、移住・二地域居住の推進

○　地理的・地形的な優位性や豊かな自然など岐阜県ならではの地域資源を生かした関係人口の創出を図り、二地域居住、さらには移住へとつなげていく取組を推進

○　首都圏・関西圏からの移住希望者等のニーズを踏まえた情報発信や相談対応、移住支援金をはじめとした移住支援策等の取組を推進

○　気軽に農業を体験し、楽しみながらノウハウを学べるスタートアップの「場」を設け、半農半Xなど多様な主体・形の農業参画を図る「アグリパーク構想」を推進

○　ぎふの農村ならではの体験メニューと地域貢献メニューを組み合わせた滞在型体験プログラム「GIFU-DO 農泊」の取組を推進【再掲】

○　県と市町村が連携し、空き家所有者に対する空き家活用のための情報提供や啓発を推進

○　幼少期に自然を体験できる保育園の短期滞在プログラムを推進

○　岐阜県内のリニア関連工事に携わった方々が、工事後も引き続き岐阜県と関わりをもっていただけるような取組を推進

❷ 先端産業・行政機能等の誘致

○　リニア開業を見据え、「東濃クロスエリア本社機能移転推進会議」をはじめ、官民連携により、大容量で安定した通信インフラの整備等を通じて首都圏や関西圏からの本社機能移転、研究機関・データセンター、サテライトオフィス等の誘致を推進

○　国において設置が検討されている防災庁の地方機関について、国に対し積極的に要望活動を行うなど、岐阜県への誘致に向けた取組を推進

○　豊かな自然や文化的景観を生かしながら開発を推進

2　首都圏･関西圏の生活圏として、働き、住みたくなるまちづくり

【具体的な施策のイメージ】

❸ 医療･介護体制の整備

○　将来の医療需要を見据えた医療提供体制の構築、医師偏在対策の促進を図るとともに、介護現場の人材の確保・生産性の向上を推進

❹ 子育て支援体制の整備

○　自然とのふれあいや、学年の枠にとらわれない学び合いなど岐阜県ならではの魅力的な教育環境を充実
○　保育所や放課後児童クラブの待機児童解消のための人材確保対策など、安心して子育てができる体制整備を推進
○　小・中学生等への木育プログラムの実施や、森林環境教育プログラムを提供し「ぎふ木育」の取組を推進

❺ 地域を担う人材の育成･確保

○　リニア開業により、リニア岐阜県駅周辺が首都圏や関西圏から見て通学圏に含まれることを見据え、大学などの教育機関の誘致を推進
○　リニア開業に伴い、地域が必要とする産業人材の育成・確保を推進
○　幅広い人材ニーズに応える地域の人材育成を推進
○　リニア建設現場の見学会や出前講座、シンポジウムの開催、小・中学生向けの副読本の作成などを通じて、県民のリニアへの理解を深めるとともに、地域の魅力や将来のまちづくりについて県民と一緒に考える機会を創出し、特に若い世代のシビックプライドを高める取組を推進　【再掲】
○　小・中学生等への木育プログラムの実施や、森林環境教育プログラムを提供し「ぎふ木育」の取組を推進　【再掲】

❻ 地域を支える産業の育成･支援

○　岐阜県の伝統・地場産業について、担い手不足などの課題を解決するための事業者等への支援を推進
○　リニア岐阜県駅に隣接する中部総合車両基地の建設を契機として、新たな雇用の創出や地域の産業振興にかかる取組を推進
○　東濃ヒノキをはじめ地域材の利用拡大等を通じて、地域の林業・木材産業の振興を図るため、県産材住宅の建設支援や森林技術者の確保・育成などの取組を推進
○　リニア建設工事において、県内企業の受注機会確保・拡大、県産品の活用など建設段階の経済効果を県内に取り込む取組を推進

3　まちの魅力を高める基盤整備

１、２を実現するためには、**訪れた人が目的地まで容易にアクセス**でき、**働く人・住む人が快適に生活**できるよう、**まちの社会基盤を整備**することが重要
そのため、この地域ならではの景観形成を図り、機能的で利便性の高い**リニア岐阜県駅及び駅周辺の整備を進めるとともに**、アクセス性・周遊性の向上に向け、**広域道路ネットワークの整備や自動運転を含む二次交通の充実等を推進**

【具体的な施策のイメージ】

❶ リニア岐阜県駅及び駅周辺の整備

○　リニアで訪れた人が「別世界」に来たと感動するような、この地域ならではの豊かな自然や歴史・伝統文化を生かした景観形成を図るとともに、隣接するＪＲ美乃坂本駅の機能強化など、機能的で利便性の高いリニア岐阜県駅及び駅周辺の整備を推進
○　県や地元自治体、ＪＲ東海が連携し、岐阜県の東の玄関口となるリニア岐阜県駅において、交通結節機能に加え、物販・情報提供機能の整備を推進

❷ リニア岐阜県駅のアクセス道路及び周遊を促進する道路網の整備

○　国道１９号瑞浪恵那道路や濃飛横断自動車道、東濃西部都市間連絡道路、東濃東部都市間連絡道路など、リニア岐阜県駅へのアクセス性を向上させる道路及びリニア岐阜県駅のある東濃圏域から県内そして隣接県へと魅力ある拠点を結び、周遊を促進する道路網の整備を推進

❸ リニア駅等を起点とした公共交通ネットワークの充実

○　リニア開業により生じる、リニア岐阜県駅、名古屋駅、岐阜羽島駅などを起点とした新たな人流や交通ニーズへの対応及び地域を支える公共交通の維持・確保のため、自動運転など新技術の活用や広域バス路線の創出、在来線鉄道（地方鉄道を含む）の機能強化・利用促進など、リニア岐阜県駅からの二次交通を含めた公共交通の効率化及び利便性の向上など計画的な整備を推進

3　まちの魅力を高める基盤整備

❹ 交通拠点の機能強化

○　利用需要との調和を図りながら、リニア岐阜県駅へのアクセス向上のためのパーク・アンド・ライドに供する駐車場の整備を推進
○　リニア開業効果を県内各地域にも波及させるため、瑞浪駅など在来線の駅周辺整備や交通拠点の機能強化を推進

❺ 安全で安心なまちづくり

○　洪水氾濫や渇水の被害から人々の暮らしや企業の活動を守るため、新丸山ダムや木曽川水系連絡導水路などの整備を促進
○　地震や豪雨などの災害に強い道路ネットワークを確保するため、緊急輸送道路等の道路ネットワークの強化を推進
○　リニア開業により生じる周辺地域への周遊を見据えた、自転車の活用を推進する自転車ネットワークの形成
○　高齢者、障がい者、多文化対応など、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインの推進
○　新たな道路網整備に伴う交通流の変化に応じた交通事故抑止対策や、人の流れや交通量の増加が見込まれる場所の防犯対策を推進